

全国导游翻译考评辅导复习材料

日语测试题集

卢友络 秦明吾 编
吴瑛美

旅游教育出版社

出版说明

一九八七年十一月十四日，经国务院批准，国家旅游局发布《导游人员管理暂行规定》。《规定》指出：具备一定条件，经考试合格者，办理登记注册手续，方可担任导游工作。根据此规定，国家旅游局规定自一九八八年起，开展全国导游人员资格考试，登记注册，颁发证书工作。资格考试科目定为政治，语言（外国语或地方语或少数民族语言），导游知识，导游业务等四门。

为配合考评工作，帮助导游人员掌握基本知识和技能，由国家旅游局教育司组织比较有经验的同志编写了本套《全国导游翻译考评辅导复习材料》，供各地旅游行政管理部门或导游人员考评委员会作为应考培训的教材和导游人员复习参考资料。

全套《考评辅导复习材料》包括《十一届三中全会后党和政府主要方针政策》、《导游业务》、《导游基础知识》、《英语测试题集》、《日语测试题集》、《法语测试题集》、《德语测试题集》、《西班牙语测试题集》共八种

本书《日语测试题集》采用模拟试题形式，试题包括语法、词汇、阅读理解、翻译、听力五方面内容，以测试外语水平为主，适当结合导游业务。试题原则上以难易程度编排，以供中、高级导游翻译的不同需要。本书也可供日语专业学生和日语自学者作练习用。书后附有各套试题的答案，供读者

参考。听力试题有外国专家录制的盒带，需要者可直接向旅游教育出版社购买。

本测试题集由北京第二外国语学院副教授卢友络、秦明吾、吴瑛美编写，其中卢友络负责高级职称部份；秦明吾负责中级职称部份；吴瑛美负责听力部份。

本测试题集经外文翻译局总译审邱茂同志和张生林副教授审阅，特此致谢。

由于时间仓促，经验不足，这套辅导复习材料难免存在这样或那样的缺陷、错误。请各地考评委员会广泛征集读者和培训教师的意见，并及时转告国家旅游局教育司，以便修订。

目 錄

練習問題一	(1)
練習問題二	(13)
練習問題三	(24)
練習問題四	(36)
練習問題五	(50)
練習問題六	(63)
練習問題七	(78)
練習問題八	(92)
練習問題九	(108)
練習問題十	(121)
練習問題十一	(131)
練習問題十二	(143)
練習問題十三	(155)
練習問題十四	(166)
練習問題十五	(178)
練習問題十六	(189)
練習問題十七	(201)
練習問題十八	(212)
聽力練習問題	(223)
練習問題答案	(237)

練習問題 一

一、次のことばの漢字の読みを平仮名で書きなさい。

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 札幌 () | 2. 小樽 () |
| 3. 邦楽 () | 4. 誇大 () |
| 5. 渋滞 () | 6. 小児 () |
| 7. 栽培 () | 8. 恐慌 () |
| 9. 円滑 () | 10. 示唆 () |
| 11. 喪失 () | 12. 身体障害者 () |

二、次は同音異字の書き分けの問題である。かたかなの部分で、それぞれ適切な漢字で書きなさい。

- | | | |
|----|---|-------------------------------|
| 1. | { | (ア) シンチョウな態度をとる。 () |
| | | (イ) 意味シンチョウな発言をする。 () |
| | | (ウ) シンチョウの服を着る。 () |
| 2. | { | (ア) 絵をカンショウする。 () |
| | | (イ) あまりうるさくカンショウするな。() |
| | | (ウ) 中国チームは三対0でカンショウした。
() |
| 3. | { | (ア) アツい夏をすごした。 () |
| | | (イ) アツいうちに食べなさい。 () |
| | | (ウ) アツい壁にぶつかった。 () |

4. { (ア) コウガイがだんだんひどくなった。()
 (イ) 大学は都市のコウガイにある。()
 (ウ) 燃えのこりを工場のコウガイに廃棄する。()
5. { (ア) キセイ虫の検査をする ()
 (イ) 旅行のためキセイしない ()
 (ウ) あの子はよくキセイを発する ()

三、次の左の外来語の意味にもっとも近いものを一つ選んで、符号で答えなさい。

1. スケジュール { (ア) 相談する
 (イ) 日程
 (ウ) 日程のうちあわせ
 (エ) 観光地
 (オ) 市内見物

2. ベテラン { (ア) 人目をひく人
 (イ) 男性的な人
 (ウ) 経験ゆたかな人
 (エ) 近代的な感じの人
 (オ) 年寄りじみた人

3. アマチュア { (ア) 玄人
 (イ) スポーツ選手
 (ウ) 芸術家
 (エ) 素人
 (オ) 写真家

4. エチケット
- (ア) 礼儀作法
 - (イ) 女性の上着
 - (ウ) 上流階級
 - (エ) 公衆道徳
 - (オ) 飛行機のきつぷ

5. プーム
- (ア) 極度の不振
 - (イ) 突然の人気
 - (ウ) 定例の集会
 - (エ) 海外旅行
 - (オ) ばか騒ぎ

四、次の(1)―(10)のことわざと同じ意味をもつことわざを、下の(ア)―(オ)からさがして、その記号で答えなさい。

1. 朱に交われれば赤くなる
2. 急がばまわれ
3. 良薬は口に苦し
4. 二兎を追う者は一兎をも得ず
5. 弘法も筆のあやまり
6. 先んずれば人を制す
7. かめの甲より年の功
8. ねこに小判
9. 二階から目薬
10. ころばぬ先のつえ

(ア) せいては事をしそんじる

(イ) あぶはちとらず

- (ウ) 猿も木から落ちる
- (エ) 水は方円の器に従う
- (オ) 忠言耳にきからう
- (カ) 早い勝ち
- (キ) 愚者は経験によって事を知る
- (ク) 遠火で手をあぶる
- (ケ) 馬の耳に念仏
- (コ) 後悔先にたたず

五、次の文の——にはどんな言葉を入れたらよいか。それぞれのA—Dの中から適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

1. あの人は病気で——，毎日くすりをたくさん飲んで
います。
A ないので B ないのに C ないために D ない
から
2. ——大じしんが起こったら，まず第一に火を消し
てください。
A もしかすると B ぜひ C よもや D 万一
3. あの人のうちは——，駅から遠い。
A 小さいうえに B 小さいので C 小さいけれど
も
D 小さいため
4. ——会社の売り上げを上げようと，社員は一生けん
めいだった。
A なんと B なんとなく C なんとかして D な

んともなく

5. きのは頭がいたかったです。——学校へ行きました。
- A それなら B それで C そこで D それでも
6. なくなった自分の娘によく似た女の子に出会って、母親は驚きの——、声も出なかった。
- A ことで B あまり C ほど D ため
7. まじめな人だから——そんなうそは言わないでしよう。
- A 少しは B 少しも C まさに D まさか
8. ——法学部の学生だけあって、法律のことはよく知っている。
- A どうか B さすが C どうせ D まして
9. 彼の言うことは——正しいとは言えない。
- A 必ず B どうか C 必ずしも D なんとか
10. どんなに一生けんめいにやった——、だれも認めてくれない。
- A ところで B ところ C ばかりで D ばかり
11. その問題を解決する——、少なくとも1週間は必要だ。
- A ことは B だけは C には D のが
12. 家から外へ出た——、大雨が降ってきた。
- A あいだに B までで C ばかりで D とたんに
13. 電話で聞いた——、親切にくわしく答えてくれた。
- A といろで B ところ C ばかり D ばかりに

14. 飛行機か自動車かとさんざんまよった——、結局バスで行くことにした。

A つもりで B までで C あげく D とたん

15. 自分では正しい——でも、ほかの人から見ればまちがっていることもある。

A ばかり B だけ C ほど D つもり

六、次の文の()の中に、適当な言葉を入れなさい。

1. 今日寒いですが、それでも昨日ほど ()。

2. 私はやると言ったからには最後まで ()

3. 鍵が()いるから、どこかへ出かけたのでしよう。

4. どんよりと曇った、今にも()空模様だ。

5. 秋も深まり、朝晩めっきり()が、その後いかがでいらっしゃいますか。

6. ご家族の皆様にくれぐれもよろしく()。

7. 若い女性の和服姿は、正月でもないかぎり、めったに()。

8. 値段が高い本だが、どうしても必要なので()わけにはいかない。

9. どんなに苦しくても泣き言は()と決心した。

10. 彼は知っていたくせに、私に教えて()。

七、次の会話は電話での対話です。AとBは同じ会社の女子社員で、Mは別の会社の社員です。文章をよく読んで、()の中に適当な敬語表現を書き入れなさい。

M 「もしもし、そちらは貿易課ですか。」

A 「はい、そうです。」

M 「課長さんは(①)か。」

A 「今ちょっと外出して(②)が、どちら様(③)か。」

M 「日本橋商事の松村と(④)。課長さんはどちらに(⑤)か。」

A 「ちょっと(⑥)。ほかの者に聞いてみますから。
……Bさん、あなた、課長はどこに(⑦)か知
ってる？」

B 「知らないけど、たぶん銀行へ(⑧)たんじやない
かしら。」

A 「もしもし、お待たせ致しました。ほかのものも
よく(⑨)ませんので、課長が帰りましたら、そ
ちらにお電話するように(⑩)。」

M 「そうですか。それじゃ午後五時までにご連絡くだ
さるように(⑪)ませんか。」

A 「はい、(⑫)。」

八、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

わたしは、学校から帰るとすぐ、「おとうさん、きょう松山先生が、「あす三時ごろ、お宅へA 。」と、おことづけになりましたよ。」と言いました。父は、「そうか、せんだってお会いしたときにも言っておられたから、たぶん、今度書いた絵を見にB 。」と、にこにこしながら答えました。わたしは、松山先生のいつものていねいなことばを思い出しながら、「それからね、「たびたび、ご無理を

C [] てすまないのですが、そのときに、お若い時の絵を、もう一度、D [] と思いまから、お願いしておいてください。」とおっしゃいましたよ。」と、つけ加えました。すると父は、「ご熱心な方だからなあ。しかし、まさか、あんなものをまた E [] わけにも F []。何かさがしてみよう。」と言って、画室の方へ行きました。しばらくして画室に行ってみると、父は五、六枚の絵を前にして立っていました。わたしは笑いながら絵を見ている父を見あげました。

問い この文のA～Fの [] に、いちばんよくあてはまるものを次のそれぞれのことばの中から選んで、その記号で答えなさい。

- | | | |
|---|--------------|----------------|
| A | (あ) いらっしゃる | (い) 来られる |
| | (う) おうかがいします | (え) たずねる |
| B | (あ) くるのだろう | (い) おいでになるのだろう |
| | (う) いらっしゃる | (え) たずねるのだろう |
| C | (あ) おっしゃっ | (い) おいいになっ |
| | (う) 言われ | (え) 申しあげ |
| D | (あ) 拝見したい | (い) お目にかきたい |
| | (う) 見てあげたい | (え) ごらんになりたい |
| E | (あ) お目にかける | (い) 見せる |
| | (う) 拝見する | (え) ならない |
| F | (あ) いかない | (い) ならない |
| | (う) いくまい | (え) いこう |

九、次の人物に最も関係の深いものを、あとから選び、記号で答えなさい。

① 大伴家持

② 夏目漱石

③ 孔子

④ 吉田兼好

⑤ 堀辰雄

⑥ 松尾芭蕉

⑦ 川端康成

⑧ 宮沢賢治

(ア) 源氏物語

(イ) 風立ちぬ

(ウ) おらが春

(エ) 徒然草

(オ) 坊ちゃん

(カ) 論語

(キ) 万葉集

(ク) 風の又三郎

(ケ) 奥の細道

(コ) 雪国

(サ) 父帰る

(シ) 方丈記

十、次の文章中の□に適切な言葉を漢字で書きなさい。

平安時代の文学では、かなの使用と女流文学者の進出とが大きな特徴としてあげられる。紀貫之は男性として、最初のかな文の紀行文である□ア□を書いた人である。女流文学者としては、随筆の□イ□と物語の□ウ□とがなんといっても代表的である。

十一、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

詩と科学、遠いようで近い。近いようで遠い。

どうして遠いと思うのか、科学は厳しい先生のような。いいかげんな返事はできない。こみ入った実験をたんねんにやらなければならない。難しい数学も勉強しなければならない。詩はやさしいお母さんだ。どんな勝手なことを言っても、たいていは聞いてくださる。詩の世界にはどんな美しい花でもある。どんなにおいしい果物でもある。

〔A〕 何だか近いようにも思われる。どうしてだろうか。出発点と同じだからだ。どちらも〔B〕を見ること、聞くことから始まる。ばらの花の香をかぎ、その美しさをたたえる気持ちと、花の形状を調べようとする気持ちの間には、大きな隔たりはない。

問1 — 線「科学は厳しい先生のような」と、対比して書かれている一文を本文中から抜き出しなさい。

問2 〔A〕に入る適切な接続詞を次から選び、記号で答えなさい。

(ア) なぜなら

(イ) たとえば

(ウ) また

(エ) しかし

問3 〔B〕に入る適切な語句を次から選び、記号で答えなさい。

(ア) 天気

(イ) 自然

(ウ) 方向

(エ)

表情

十二、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

時々、こんなことを思う、「もし自分が女に生まれていたら」、日常生活の感覚も随分違っていただろうなと。(a)、女と肩を並べて夕焼けの風景を見ているとする。「うつくしいな。」と私が言う。「うつくしいわ。」と女が応じる。

しかし男の私がうつくしいと思う感覚と女の彼女がうつくしいと思う感覚とは、微妙な点で大きな開きがあるに違いない。〔A〕の違いは肉体の違いにつながり、肉体の違いは〔B〕の違いを生む。同じように「うつくしい」と言いあっても、そのうつくしきの感覚は男と女とで開きが

ある。違いがある。しかし、人間の言葉はその微妙なものをすべて裏うちして表現するほど豊かではない。だからわれわれは共に「うつくしい」という同じ言葉を使っているにすぎない。

私のように好奇心の強い男はそれを考えると残念でならぬ。一生は一度しかない。(b)この生まれた世界を色々な角度から味わうことができない。それが無念である。

問1 (a)と(b)に補うのに適当な語を次から選び、記号で答えなさい。

- (ア) なぜなら (イ) それなのに
(ウ) また (エ) たとえば

問2 A・B について、直前と直後の文と考え合わせて、それぞれ適当な語(A一字・B二字)を補いなさい。

問3 ——で筆者は言葉のどのような点が不十分であると述べているのか、次から適当なものを選び、記号で答えなさい。

- (ア) すべての人に共通に使用される一般性。
(イ) 感覚・感情を伝える暖かい人間性。
(ウ) 一つの言葉で色々理解できる多面性。
(エ) すべての事物や感情に対応できる多様性。

十三、つぎの詩は、有名な詩人の張継と蘇東坡の書いたものである。①は寒山寺についてのもので、②は杭州の美をうたったものである。一つだけ選んで、中国語に訳しなさい。

1. つきおちからすないて しもてんにみつ、
こうふうぎよか しゅうみんにたいす。
こそじょうがい かんざんじ、
やはんのしょうせい きゃくせんにいたる。
2. すいこうれんえんとして はれてまさによし、
さんしょくくうもうとして あめもまたきなり。
もしせいこをせいしにたとうれば、
たんしょうのうまつ すべてあいよろし。

十四、次の中国語文を日本語に訳しなさい。

1. 中国有句古话：“有朋自远方来，不亦乐乎”，
我们现在的心情正是这样。代表团的朋友当中，
有的初次到中国，也有来过多次的老朋友。老朋友
自不必说，就是今天初次见面的新朋友，也希望
你们象是回到自己家那样，多住些时候。你们
如果有什么要求，或我们有什么招待不周的地
方，请不客气地提出来。
2. 这次安排朋友们住北京国际饭店，一共订了七个
房间，其中 301 号房间是套间，带有会客室；从
302到307号都是双人房间。
3. 这个城市的林荫树主要是国槐，槐字是木字旁边
加一个鬼字，另外还种有杨树、柳树、松树和银
杏树。

練習問題 二

一、次のことばの訓読みを平仮名で書きなさい。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 皿 () | 2. 嫁 () |
| 3. 弓 () | 4. 宿 () |
| 5. 矢 () | 6. 風 () |
| 7. 芽 () | 8. 飯 () |
| 9. 腹 () | 10. 柱 () |
| 11. 恥 () | 12. 墓 () |
| 13. 露 () | 14. 粒 () |
| 15. 旅 () | 16. 底 () |
| 17. 病 () | 18. 形 () |

二、次は同音異字の書き分けの問題である。かたかなの部分、それぞれ適切な漢字で書きなさい。

- | | | |
|----|---|---------------------------|
| 1. | { | (ア) 山の上に <u>タ</u> ()つ。 |
| | | (イ) 新しい建物が <u>タ</u> ()つ。 |
| | | (ウ) 国交を <u>タ</u> ()つ。 |
| 2. | { | (ア) 大風が <u>フ</u> ()く。 |
| | | (イ) 火山が火を <u>フ</u> ()く。 |
| | | (ウ) 雑巾で机を <u>フ</u> ()く。 |
| 3. | { | (ア) 税金を <u>オサ</u> ()める。 |
| | | (イ) 国を <u>オサ</u> ()める。 |
| | | (ウ) 勝利を <u>オサ</u> ()める。 |